

富谷市 マップ

49.18km²の市域には、富谷発展の礎である宿場、大型商業施設が立地する便利で快適な住宅地、四季折々の心を癒す美しい自然、そしてたくさんの笑顔が広がっています。

① 総合運動公園



スポーツセンター、武道館、グラウンド、テニスコート等の運動施設を設け、各種スポーツ大会のほか、マーチングフェスティバル等各種イベントを開催し、心身の健全な発達、福祉の増進、スポーツの普及振興を図っています。

② 代官松



藩政時代、黒川一円を管轄する代官所がこの場所にあり、玄関先に植えられていたことからこの名で親しまれています。郷土の象徴として市木も、この代官松にちなんで、「まつ」としています。

③ しんまち公園



町制施行30周年を記念して整備された公園で、平成6年度「手づくり郷土賞」の「人々が集い憩う水辺づくり部門」で建設大臣から表彰を受けました。池を囲うように遊歩道があり、水と緑にあふれ、広々とした開放感が心を和ませてくれます。

④ 富ヶ岡公園



しんまち通り南側の丘陵地帯に広がる公園で、明治24年に開設しました。丘の上からは七ツ森や泉ヶ岳、船形山、栗駒山などの雄大な景色が見渡せます。

⑤ 西成田コミュニティセンター



元小学校の懐かしく温かみのある雰囲気を残しつつも利用者が快適に活動できる学びの施設として平成23年に全面リニューアル。市内外の皆さんの交流や自然体験活動の場として多くの方に親しまれています。



⑥ 日吉神社



市名の由来である「十の宮(とうのみや)」のうち唯一現存しているのがこの日吉神社です。山王鳥居と呼ばれる独特の形をした赤い鳥居が、時の流れを今に伝えています。

⑦ 成田せせらぎ緑道



多くの木々が植えられ、その中を小川が流れる水と緑をテーマにした都市公園です。明るい陽射しにきらめく遊歩道や広場は、四季を通して散策が楽しめます。

⑧ 東向陽台桜並木



住宅地のそばにあり、身近な散策路として親しまれる桜並木です。春には満開の桜を楽しめるので、付近の住民の方はもちろん、市内外から多くの方々が集い賑わう桜の名所です。

⑨ とみや子育て支援センター“とみこご”



妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の拠点として、平成29年4月にオープンしました。母子健康手帳の交付、乳幼児健康診査、予防接種(BCG)などを行っています。また、月2回(月曜日)、0歳～未就園児のお子さんと保護者の方を対象に遊びのスペースを設け和室を開放しています。親子で遊んだり、保護者の皆さん同士が交流することができます。

⑩ ブルーベリーつみとり農園



さわやかなブルーベリーは農業を使用しないで栽培され、ビタミンA、ビタミンC、鉄分などが豊富な自然食品です。有料で持ち帰りもできます(7月上旬～ 明石地区：高橋農園)。

富谷宿

江戸時代、仙台藩の南北を結ぶ奥州街道の宿駅として栄え、2020年に開宿400年をむかえた「富谷宿」。

奥道中歌に「国分の町よりここへ七北田よ富谷茶飲んで味は吉岡」と詠まれたように、富谷宿は、旅人の宿場として隆盛を極めた歴史があります。天保13(1842)年の記録によると、宿屋、呉服屋、酒場、醤油屋など25業種、75軒もの店が街道沿いに軒を連ねていたと伝えられています。2020年には開宿400年をむかえた富谷宿。今日もしんまち地区を散策すると、当時の面影が感じられます。



富谷市まちづくり産業交流プラザ 「TOMI+ (とみぷら)」



旧富谷町役場庁舎を改修し、平成30年7月オープンした創業支援や市民交流の拠点。富谷市民俗ギャラリーや富谷市シルバー人材センターも入る複合施設。

中宿の景観



本陣跡から、熊野神社へと続く中宿付近の街道沿いには、宿場町らしい情緒ある景観が今も色濃く残っています。

恋路の坂



アララギ派の歌人・原阿佐緒とアインシュタインの弟子・石原純博士の恋にちなんで名付けられた富ヶ岡公園に至る坂道。

脇本陣跡



脇本陣をつとめた名望家の氣仙屋。1876年と1881年の東北北海道行幸で明治天皇が御小休なされたこともあり、その部屋は現在も保存されています。

富谷宿



明治末期に建てられた土蔵を改修し、しんまちの資料館・地場産品販売所として営業。2021年には、国の登録有形文化財に登録されました。(黒川地区初)

熊野神社



宿場町「富谷宿」が開設された際に、それまでは現在地よりも東にあった熊野神社を、宿場の入り口にあたる場所へ移設したと伝えられています。

富谷宿観光交流ステーション (とみやど)



本市の偉人 内ヶ崎作三郎氏の生家や土蔵等を改修し、新たな観光交流の拠点、起業創業の実践・チャレンジの拠点として、2021年5月にオープンしました。新しい施設ながら風情を感じられる「とみやど」では、地元食材を生かしたグルメが楽しめるほか、毎週末趣向を凝らしたイベントを開催しており、賑わいを感じることができます。